

天皇すめらみこと、宇智うちの野のに遊狩みかりする時ときに、中皇なかつすめら
命みこと、間人はしひとのむらじおゆ連老にたてまつに献うたらしむる歌

三番

やすみしし 我わが大君おほきみの 朝あしたには 取とり撫なでた
まひ 夕ゆふへには い寄より立たたしし みとらしの
梓あづさの弓ゆみの 中弰なかはずの 音おとすなり 朝狩あさがりに 今立いまたたす
らし 夕狩ゆふがりに 今立いまたたすらし みとらしの 梓あづさ
の弓ゆみの 中弰なかはずの 音おとすなり

反歌はんか

四番

たまきはる 宇智うちの大野おほのに 馬うま並なめて 朝踏あさふます
らむ その草深野くさぶか